

土曜参観のお礼

10月20日(土)に行なわれました授業参観、教育講演会、引き取り(引渡し)訓練にはお忙しい中、多くの保護者の方々が参加下さりありがとうございました。講演会の折にもお話ししましたが、本校では何年も前から10月の第3土曜日(昨年までは日曜日)を保護者参観の日と位置付け、普段なかなかお子さんの学習の様子を見ることの出来ないお父さん方の参観の機会としてきました。

当日は、学校全体としては道徳の学習が多かったのですが、教科の学習もありました。また、クラス単位での授業ではなく、学年全体での取り組みのようすをお見せした学年もありました。

保護者の皆さんは、お子さんの学習の様子をご覧になりどのような感想をお持ちになりましたか。私は普段より急いで全学級を回りました。(1時半頃には講演会の講師の先生がお見えになるとの話でしたので)短い時間での参観でしたから確かなことは言えませんが(お家の人が見ている緊張したのでしょうか。また、なかには就学前の弟や妹が本人にまわりついていて姿も見られましたが)子ども達の学習に向かう姿勢が普段より少し積極性に乏しかったかな、そんな感じも受けました。

授業参観の後の教育講演会では講師に、現在、山梨県教育委員会義務教育課の指導主事として山梨県警察本部に少年対策官として出向している仙洞田先生をお迎えし、「ネット社会のルール」というテーマでお話を伺いました。

講演会の後、校長室でPTA会長さんと一緒に再度お礼を述べるとともに、講演の内容について話をしました。その折、仙洞田先生が、

「時間が足りず、最後には駆け足で話をしてしまいました。そのため、十分な説明ができて申し訳なかったです。保護者の皆さんにお分かりいただけただけでしょうか。」

と、心配されていました。そこで、仙洞田先生とその後、話をした幾つかの内容(講演内容の補足も含めて)について保護者のみなさまにお伝えすることとします。

①子ども達がネット社会のワナにはまらず、危険な状況に陥らないようにするのに一番大切なことは、親子関係を良好に保つことです。何でも話し合える親子関係をつくるのが一番大切です。

②ネット社会の中で、ネットを使って相手を誹謗中傷をする側(加害者)とされる側(被害者)は実際には区別が付きにくいものです。昨日までの加害者が急に被害者になることもあります。大切なことは、子どもの心を育て加害者にも被害者にもならない人間に育てることです。

③最後に、私(仙洞田先生)が自分の家庭の話(高校生の娘さんとの親子関係がうまくいかない時があったことの話)をしましたが、情報の洪水の中にいる私達は知らず知らずの間に情報に押し流され自分自身を見失っています。時には、テレビなどの情報を止め、外部からの情報を絶つことで静かな場をつくり、自分の心を見つめ、(内観療法)その中から親子のあり方を考えてみることも大切です。

このような話をされました。現代の情報化社会に生きていく上で、子ども達は携帯電話に代表される情報機器を使いこなすと共にその危険性を知ることが必要です。しかし、それ以上に大切なことは「心のあり方」のようです。「人として、人間としての正しい心を育てることが一番です。」そんな点を強調されていました。